

**令和5年度第1回  
能勢町障害者計画等推進委員会 議事録**

日 時	令和5年5月22日(月) 午後2時00分～3時30分		
場 所	能勢町保健福祉センター 集団指導室		
出席者	(委員長)		
	大阪公立大学	教授	野村恭代
	(副委員長)		
	能勢町民生委員児童委員協議会	副会長	松村茂樹
	(委員)		
	能勢町障害者福祉会	会長	八木キヨミ
	てしま会能勢分会	会長	城阪敏明
	能勢町手をつなぐ親の会	監事	塩田垣美
	(福)産経新聞厚生文化事業団 大里荘	管理者	永棟真子
	(福)産経新聞厚生文化事業団 福祉相談くすのき	管理者	高橋基樹
	(福)宝島福祉会	管理者	中 幸男
	(福)能勢むらびと福祉会 夢来人の家	副施設長	宮武宏樹
	(福)四幸舎和会 くりのみ園	施設長	大崎年史
	(福)北摂福祉会 ともがき	施設長	高田聡文
	(福)能勢町社会福祉協議会	事務局長	松下和之
	(オブザーバー)		
	大阪府池田子ども家庭センター	就労支援員	堀野克麿
	大阪府池田保健所	精神保健福祉相談員	植松純子
	(事務局)		
	能勢町福祉部福祉課	部長	寺内啓二
		課長	和田政弘
		係長	小豆島弘光
		主事	森鼻正樹

## 【次第】

### 1. 開会

- ・あいさつ
- ・出席者紹介

### 2. 議題

- (1) 計画策定に向けたスケジュールについて
- (2) アンケート調査について
- (3) その他

## 【事前配布資料】

- 資料1 能勢町障害者計画等推進委員会委員名簿
- 資料2 能勢町障害者計画等推進委員会設置要綱
- 資料3 アンケート調査票へのご意見・ご質問について
- 資料4-1 アンケート調査票(案) 手帳所持者用
- 資料4-2 アンケート調査票(案) 手帳所持者用(見え消しあり)
- 資料5 アンケート調査票(案) 事業者用
- 資料6 アンケート調査票(案) 関係団体用
- 資料7 アンケート項目の比較一覧
- 資料8 「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」改正後 概要(案)(国資料)
- 別添 前回(令和4年度第1回)議事録

## 【当日配布資料】

- 資料9 能勢町障がい(児)福祉計画(令和6年度～令和8年度)策定について

【議事要旨】

<p>事務局 (和田)</p>	<p>定刻になりましたので、令和5年度第1回能勢町障害者計画等推進委員会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。能勢町福祉部福祉課の和田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>それでは、会議に入ります前に、本日ご参加いただきました皆様より、自己紹介をいただけましたらと存じます。野村委員長より、時計回りに順番に自己紹介をお願いできましたらと存じます。お手元の資料1に委員名簿を配布させていただいておりますので、ご参照ください。</p> <p>(委員自己紹介。その後事務局自己紹介。)</p>
<p>事務局 (和田)</p>	<p>続きまして、お手元の資料2をご覧ください。こちらは設置要綱になりますが、第6条第2項「委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない」とございます。本日委員16名中、都合によりまして、能勢町障がい児(者)父母の会の森内様、それから能勢町国民健康保険診療所の宇佐美様、精神障害者地域活動支援センター咲笑の相談支援専門員の深田様、地域支援センター第2わとと管理者の清水様、それからオブザーバーとして参加予定でありました、能勢町教育委員会の学校教育総務課の川本様が欠席ということでご連絡をいただいております。</p> <p>したがって、委員会といたしましては12名の出席となり、半数以上の出席がございますので、本委員会が成立していることをここでご確認させていただきます。</p> <p>また、会議は公開となっております。本日の議事につきましては、後日ホームページにて公開をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、これ以降の議事進行につきましては、野村委員長にお任せいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>野村委員長</p>	<p>改めまして、大阪公立大学の野村です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>前回は3月の同じくらいのときに開催したと思うのですが、あっという間に2か月がたって、今年度1回目の委員会ということですので。昨年度が1回だったので、2か月しかたっていませんが、1回目の委員会ということで、今回も建設的なご意見を委員の皆様から賜れたらと思います。お時間の許す限りよろしくお願いいたします。</p>

少し話がずれるかもしれませんが、大阪市住吉区で、いろんな災害が年々大規模になっているということもありまして、今年の夏も恐らく災害があるだろうということも想定しながら、実際に災害が発生したときに、どんなふうに助け合いながら避難をするかということについて計画を立てています。自治体で要援護者名簿に基づいた個別避難計画を策定しなければならないということになっていますが、大阪市は残念ながらなかなか進まないという現状があります。

住吉区では名簿の作成ができていて、避難計画を作れる地区もあるんですが、実際に一つの自治会のモデルとして取り上げていたときに、名簿に名前は載っていないけれど、何か災害が発生したら一人では逃げられないという方がたくさんいるということがわかりました。

4月にその自治会を対象に住民説明会を行ったんですが、これは要援護者名簿にかかわらず、支援が必要な人については、個別避難計画を作成するといった説明会を行いました。自治会の半数以上、6割の世帯が説明会に参加し、6割の世帯全てで支援が必要だという回答でした。残りの4割の世帯で支援が必要かどうかということはこれから確認をするんですが、それぐらい実際に豪雨、地震などいろんな災害が発生したときには、支援が必要な方がおられるんだということがわかりました。

ただ、支援が必要な人が多く、支援を何らかの形で作れるという人の数が少ないため、どうするかというときに、平時は例えば、障がいに関する手帳を持っている方は、災害が発生しても何らかの支援が必要だというふうに想定されます。実はそうではなくて、手帳を持っているけれども「避難は手伝いできますよ」という方もおられるんです。そうなるとう個別避難計画のときに、普段は何らかの支援が必要だと事業所を利用されている方が、災害時には助ける側に回るといった役割も出てきています。

そのような形で福祉を推進するというときには、災害もそうですし、いろんな関連するものと合わせながら推進していくことが可能なのではないかとことが、今の取組の中から見えてきました。

具体的に動き始めて、どんな形になるのかということが、年度内に計画などが完成すれば、ご報告をさせていただきたいと思っております。

それでは議事に入りたいと思います。次第の議題(1)です。「計画策定に向けたスケジュールについて」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 (森鼻)	<p>着座にて失礼いたします。まず資料でございますが、本日お配りをさせていただきました、資料9をご覧ください。</p> <p>(今後のスケジュールについて、資料9に基づき説明。その後、アンケート調査及びヒアリング調査のポイントを説明。)</p>
野村委員長	<p>ありがとうございました。ただ今、計画策定に向けたスケジュールについて事務局から説明をいただきました。何かご質問などございませんか。</p> <p>(特に委員からの質疑なし)</p> <p>では続きまして、議題(2)「アンケート調査について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (森鼻)	<p>(アンケート調査について、詳細の内容を資料3から順に説明。)</p>
野村委員長	<p>事務局から、アンケート調査について説明をいただきました。前回、委員の皆様から頂戴しました意見を事務局の方で反映していただきました。お気付きの点やご質問などありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
大崎委員	<p>事業者アンケート調査で、冒頭に野村先生から災害の話が出て、我々はBCPの策定は終わっているのですが、まだBCPの策定をしてないところがたくさんあります。そのため、能勢町の17の事業所にアンケートを取るときに「BCP策定は済んでいますか」という設問を載せておいてもらいたいと思います。</p> <p>権利擁護のところ、今年度から障がい福祉サービスの事業所には、身体拘束とか、マニュアルや同意書を必ず作成してそろえておかないといけないとなっています。実地指導があると、必ず見られると思うので、事業者アンケートの中に、身体拘束についての同意書は取っておられますか、マニュアルは作成済みですかというの、入れておいたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>それと手帳所持者の調査票で、新型コロナの関係がこんなにたくさんいるのかなと思いました。5類になって、うちの事業所も家族さんからよく言われているのですが、そろそろ外泊をOKにしようかなと思っています。今頃コロナのことをここまで言ってもしょうがないんじゃないかなという思いが私自身にあります。</p>
野村委員長	<p>ありがとうございました。一つは事業者向けのアンケートに防災という観点、BCPを策定しているのかどうかということ、アンケートに入れるのか、ヒアリングに入れるのかなど方法はあると思うのですが、そちらについてご意見をいただきました。</p>

	<p>もう一点が、コロナについての設問が多いのではないかというご意見だったのですが、この設問を入れている理由ですとか、なぜ必要だと考えられているのかということも、再度ご説明いただければと思います。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局 (小豆島)	<p>3点のご意見とご質問をいただきました。</p> <p>1点目のBCP、事業継続計画についてのお話でございました。こちらについては、アンケートの項目として追加すべき項目かと思いました。</p> <p>2点目が、身体拘束についての同意書及びそのマニュアルの作成についてもBCPと同じことが言えるかと思しますので、そのようにいたしたいと思えます。</p> <p>3点目がコロナの設問ですが、今回先ほど森鼻からも説明いたしましたとおり、各障がい福祉サービスの受給状況という設問を割愛いたしました。計画策定に当たってサービスの見込み量を推計していくに当たっては、実際のサービス受給状況やアンケートでのご回答などをもとに推計していきたいと考えております。そこで、設問には、新型コロナウイルス感染症の影響でどの程度、実績値に影響が出ていたかというところも確認してまいりたいと考えており、感染症に関する設問数を増やしております。</p>
野村委員長	<p>よろしいでしょうか。</p>
大崎委員	<p>問43のところは、新型コロナウイルス感染症対策ではなくて、新たな感染症が発生した場合の対応という文言でいいのではと思います。</p>
事務局 (小豆島)	<p>新型コロナに特定するわけではなくて、新たな感染症というところで記載を変更させていただいた方がよろしいかと考えます。</p>
野村委員長	<p>ただ今事務局から、資料4-2の問43の設問の変更について提案がありました。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>では文章を考えていただいて、作成をお願いできたらと思います。</p> <p>他にはご意見などいかがでしょうか。</p>
松村副委員長	<p>関係団体・事業所に対するアンケートですが、データでの回答が可能ということで書いておられるのであれば、メールアドレスを書いておかれたらいかがかなと思いました。</p>
事務局 (小豆島)	<p>アンケート冊子と別に案内文書を同封する予定でございまして、そちらにメールアドレスの記載をする予定としております。</p>
野村委員長	<p>他にご意見やご質問などいかがでしょうか。</p> <p>直接アンケート調査票の中身に関してではないのですが、先ほど資料3の説明のときに、回答者が本人と家族のどちらが多いのかという質問に対して、本人6</p>

	割、代筆1割、家族以外2割となっています。残り1割が家族という理解でよろしいですか。
事務局 (小豆島)	代筆と書いているところが、主にご家族でございます。
野村委員長	わかりました。代筆という意味は、本人の回答を代筆しているのではなくて、家族が回答しているという意味ですか。
事務局 (小豆島)	代筆という聞き方しかしていないので、はっきりとはわかりませんが、そのようなケースが多いと思われます。
野村委員長	わかりました。ありがとうございます。
城阪委員	だいたい半数しか返っていないということですが、返っていない理由は何か把握されているのでしょうか。
事務局 (小豆島)	アンケートというところで、おおむね4割から5割ぐらいの回収率を見込んでおるところでございます。回答いただけていない理由の把握は具体的にはしておりません。
野村委員長	郵送して、役場に宛先不明で返ってきていないということは、届いてはいるけれども、回収率5割弱になっている。回答をしない理由が何かわかるのであれば、お聞きしたいということだと思います。
事務局 (小豆島)	前回資料としては、そこまで具体的な資料としては取っていなかったのですが、今回返ってこなかった層はどのような層なのかということも確認していきたいと思います。何歳代に何人出しているかはわかりますので、それで返ってきたものがどれくらいかはわかります。そちらから確認できたらと思います。
城阪委員	アンケートはもっと簡単にすれば返ってくるのではないかなという気がします。
事務局 (小豆島)	今回5ページほど調査項目が減っておりますので、前回より回収率が改善されれば、設問数を減らしたことの影響だとも言えるかと思えます。 こちらについては次回以降、そうしたデータを残していけたらと思います。
野村委員長	一般的なアンケート調査ですと、やはり回収率が3割、4割ぐらいです。ですので、5割弱というのは決して低くはないのですけれども、行政の政策に反映させようとする、より多くの方からの回答がほしいというのは本音としてはあるんだろうと思います。 一般的なアンケート調査で言いますと、設問数が多いとどうしても回答率が下がる、届いた時点で嫌になって見ないということがあります。

	<p>あとは回収率を上げようとするといろんな方法があるんですが、それが果たして行政のアンケートとして適切なかどうかということがあるということです。</p> <p>本当に回収率を上げようとしたら、郵送した後、回収に回るというのが一番確実ではありますが、これもまた現実的かどうかということがあります。</p> <p>今回返ってこられた年齢層や、可能な限りで分析をして、次期の計画の際の調査に生かしていければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
城阪委員	<p>委員会の資料に関し、電子化の時代ですので、希望する人はPDFでいただくことは可能でしょうか。最近、資料をプロジェクターかテレビとかに映し進んでいるというケースが最近多いように感じます。参考意見ですが。</p>
事務局 (小豆島)	<p>データにつきましては、ご希望の委員の方におかれましては、データ送付という形でさせていただきます。</p>
野村委員長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
ワザバー (植松氏)	<p>資料4-1の4ページです。問7-2「あなたは発達障がいの診断を受けていますか」と問7-3「あなたは高次脳機能障がいの診断を受けていますか」という項目です。まず受けているか、受けていないかというのを聞いていただいて、その後結果はどのようなものでしたかと聞いてもらっていると思うのですが、どういう診断結果を受けたというのは必要でしょうか。</p> <p>精神科のドクターは、発達障がいですというような説明はされるんですけど、詳細をあまりおっしゃらないケースが多いと思います。当事者の方がここまで詳しい情報を得られているかどうかというのが、よくわからない部分もありますので、このようなことについて、わからない方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。</p> <p>どうしても診断結果がどのようなものか聞きたいということであれば、「わからない」とか「知らない」という項目も入れておいたほうが、正しいアンケート調査になるのかなと思いました。</p>
事務局 (小豆島)	<p>ご意見ありがとうございます。まず問7-2の発達障がいというところですが、今後施策を展開していくに当たり、重要なものとして位置付けしていく必要があると考えております。そのため、診断内容についてはぜひ記載をさせていただけたらと思っておりますが、設問の中に「わからない」という項目を入れさせていただけたらと思っております。</p> <p>また、高次脳機能障がいでございますが、こちらにつきましては、発達障がい</p>



	<p>の項目と流れを統一するということで診断結果を入れております。ただいまのご意見を踏まえすと、こちらについては割愛しても差し支えはないと感じるのですが、皆様いかがでしょうか。ご意見いただけたらと思います。</p>
野村委員長	<p>問 7-2、問 7-3 についてご意見をいただきました。</p> <p>まず問 7-2 については、診断結果の把握をしたいということで選択肢の中に「わからない」「知らない」というような項目を追加するということ。問 7-3 の高次脳機能障がいについて、診断結果は特段必要ではないということであれば、問 7-3-1 は削除するという事務局からの提案ですが、委員の皆様いかがでしょうか。特段反対意見がないようでしたら、事務局から提案されましたような修正をお願いできればと思います。</p> <p>他にご質問やご意見などございませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。また最後にお気付きの点があったら伺いたいと思いますので、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、議題(3)その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (小豆島)	<p>(資料 8 に基づき、国の社会保障審議会障害者部会の資料について説明。)</p>
野村委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問などありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは全体を通して、委員の皆様からご質問やご意見があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>他にご質問やご意見などございませんでしょうか。</p>
事務局 (小豆島)	<p>事務局より 1 点ご報告させていただきます。本日たくさんのご意見、ご指摘、ご提案を頂戴いたしました。こちらは事務局で修正をいたしまして、皆様がよろしければ、委員長、副委員長のご確認をいただきまして、確定ということにさせていただけたらと思いますが、ご異議等ございませんでしょうか。</p>
野村委員長	<p>ありがとうございました。今日いただきましたご意見や修正などにつきましては、事務局と委員長として私の方に一任いただいたということで、責任を持って確認をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>皆様 1 時間半にわたりまして、建設的なご意見を賜りました。ありがとうございました。それでは最後に、副委員長から挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
松村副委員長	<p>皆様お疲れ様でございました。</p>

この後アンケートが実施されまして、次回の委員会では、そのアンケート結果をもとに、計画を策定していくという運びになっております。そのときにも計画素案について、皆様には貴重なご審議をいただきたいと思いをします。

これは事務局より情報提供いただいたのですが、本日、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に係る国の検討委員会が午後4時からオンラインで審議されるということです。

本日もご審議いただきました、障がい者福祉計画、障がい児福祉計画も3年に1度の報酬改定に合わせて策定されますので、その動向についても注視しつつ、計画案を策定する必要があるかと思いをします。引き続きよろしくお願いをしたいと思いをします。

それでは、本日の委員会はこれにて終了とさせていただきます。本日はご多用の中ありがとうございました。